

令和7年 JA北九稲作ごよみ


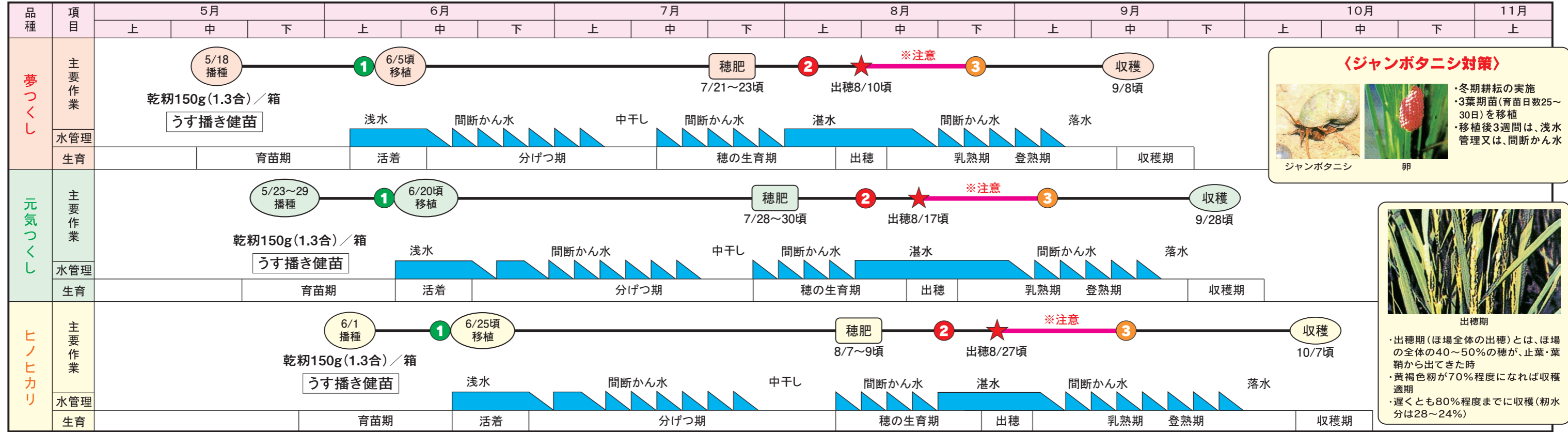
作成年月：令和6年12月

①②③は基幹防除

※「夢つくし」と「元気つくし」は、早植えすると乳白・心白が多くなるなど品質の低下を招くので、移植時期には注意しましょう!!

お問い合わせ先

- 西部営農経済センター 若松営農 TEL:093-741-2266 若松購買 TEL:093-741-1311
- 八幡営農経済センター 八幡営農 TEL:093-618-0130 八幡購買 TEL:093-618-0105
- 東部営農経済センター 西中営農 TEL:093-451-9210 西中購買(畑の匠) TEL:093-451-1040
- 曾根営農経済センター 曾根購買 TEL:093-471-0631
- 遠賀営農経済センター 遠賀営農一課 TEL:093-282-5678 遠賀購買 TEL:093-282-3070
- 【県・行政】
- 北九州普及指導センター TEL:093-601-8855
- 【ホームページアドレス】
- JA北九 <https://www.ja-kitakyu.or.jp>





〈ジャンボタニシ対策〉



- ・冬期耕耘の実施
- ・3葉期苗(育苗日数25~30日)を移植
- ・移植後3週間は、浅水管理又は、間断かん水

ジャンボタニシ 卵



出穂期

- ・出穂期(ほ場全体の出穂)とは、ほ場の全体の40~50%の穂が、止葉・葉鞘から出てきた時
- ・黄褐色籾が70%程度になれば収穫適期
- ・遅くとも80%程度までに収穫(籾水分は28~24%)

※注意→稲の開花期の防除はミツバチへの影響が考えられます。開花期の殺虫剤散布は避けましょう。


米の品質向上・収量増加の鉄則

- 種子更新は必ず毎年行う
- 根の活力・伸長を増進するため、中干しを行う
- 適期移植、適期刈り取りを行う
- いもち病・ウンカ・カメムシ類防除の徹底
- 病害虫の予防のため基幹防除を実施
- 病害虫の多発時は補正防除を実施

JA北九 TAC通信

最新の『営農経済情報』をタイムリーにお届けします!

LINE 公式アカウント



友だち登録をお願いします!

1. 育苗のポイント

用土の準備 10a当り(20箱)

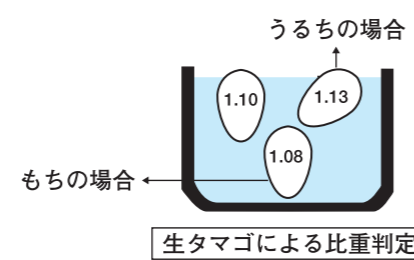
培土使用の場合	
70kg~80kg	覆土のみなら 20kg~24kg

塩水選 目的 軽い籾は病気等にかかっていた可能性が高いため、健康な種子を選別し、発芽を均一に揃える。

芒や枝梗を除去して塩水選を行う ※塩水選液の作り方は下表の通り

【水10ℓ(5升5合)に入れる食塩又は硫酸の量】 (目安)

種別	比重	食塩	硫酸
うるち	1.13	1.94kg	2.68kg
	1.10	1.42kg	1.92kg
もち	1.08	1.11kg	1.46kg
	1.06	0.90kg	1.10kg



種子消毒 目的 テクリードCフロアブル…いもち病・苗立枯病・苗立枯細菌病・ばか苗病・もみ枯細菌病等を予防する。スミチオン乳剤…イネシנגレセンチュウを予防する。ベンレート水和剤…いもち病に効果が高い。(使用時は少量の水で、のり状に練ってから規定水量に混合)

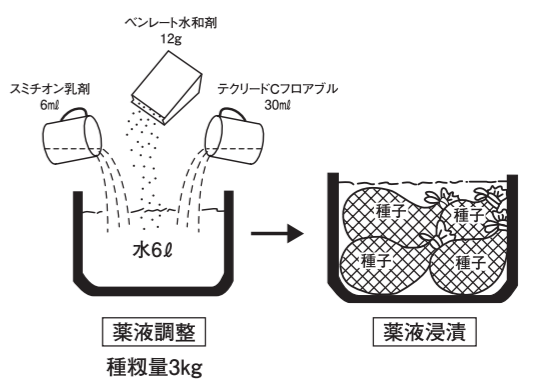
- 薬剤消毒の場合
テクリードCフロアブル(200倍)とスミチオン乳剤(1000倍)及び、ベンレート水和剤(500倍)を水に入れ、24時間浸漬、種籾の袋を良くゆすり、気泡を除く。浸漬後の種籾の袋は十分乾燥させる(薬剤効果)。

【使用薬量基準表】 (10a当り)

種籾量		3kg
テクリードCフロアブル	成分数②(①)	30ml
スミチオン乳剤	成分数①	6ml
ベンレート水和剤	成分数①	12g
水量		6ℓ

- 温湯消毒の場合
籾を袋詰めし、60℃のお湯の中に10分間漬けて、流水ですぐ冷やす ※塩水選後すぐに実施し(1時間以内)、足し湯は行わないこと(発芽率が低下)

※ベンレート水和剤は播種時~播種後7日後までの灌漑処理(500倍、500ml/箱)でもよい。



肥料・農薬の購入はJAから

II.土づくり 健全な土、丈夫な根づくりのために、毎年土壌改良資材を施用しましょう。(kg/10a)

土壌改良資材 (いづれか使用)	ミネラルG	140~200	冬場に散布鋤込
	とれ太郎	60~80	移植前に散布鋤込
	カキテツ	90~120	
	シリカサポート1号	40~80	
	けい酸加里	40	

III.施肥基準(平坦地の場合) (kg/10a)

品 種	基 肥 + 穂 肥 体 系				穂肥なし体系
	基 肥	穂 肥 (下記2肥料のいずれか使用)			基肥一発肥料
	ベスト444	NK化成	きたきゅう 水稲用追肥 (有機入り)	穂肥の目安 施用時期	Jコート 2000
夢つくし	30~35	15	30	出穂前 20日~18日	35 Jコート2000
元気つくし	35	15	30~35	幼穂長 3~5mm	35~40 Jコート2000「中稲」
ヒノヒカリ	35	15	30~35	葉色板 3.5基準	40 Jコート2000「中稲」

- ※1. 中山間地の施肥は、平坦地より1~2割減肥
- ※2. Jコート2000は、地力の高い田や野菜後作水稲及びいもち病の出やすい田には使用しない
- ※3. 穂肥で油かす(窒素成分5%)を使用する場合は、出穂前25日、幼穂の長さが1mm程度の時期に50kg/10a施用する

V.基幹防除 ※本田農薬(②・③)使用上の注意 (10a当り)

番号(上表)	対象病害虫	防 除 体 系	成分数	防除適期
①	いもち病 イネミズゾウムシ ウンカ類 コブノメイガ ニカメイチュウ イネツトムシ	防人箱粒剤 50g/箱	③	播種時 (覆土前)
		フルスロトル箱粒剤 50g/箱 ※左記対象病害虫+紋枯病	④	移植当日

※箱施薬剤の処理時期は移植前日が効果的です。
 ※ヒメトビウンカによる縞葉枯病が前年目立った圃場は、上記箱剤の使用と稲刈り後の鋤き込み等対策をしましょう。

VI.補正防除 (10a当り)

病害虫	防 除 農 薬						防除適期
	粒 剤	成分数	粉 剤	成分数	液 剤 (希釈水量)	成分数	
スクミリンゴガイ (ジャンボタニシ)	スクミノン	1~4kg	①				移植直後
いもち病	コラトップジャンボP コラトップ粒剤5	10~13個 3~4kg	①	ノンプラス粉剤 DL	3~4kg	②	初期発生時
紋枯病				バリダシン 粉剤DL	3~4kg	① (①)	初期発生時
トビイロウンカ (多発時)	アルバリン粒剤 スタークル豆つぶ	3kg 250~500g	①	アルバリン(スタークル) 粉剤DL	3kg	①	発生確認後~ 収穫7日前まで
カメムシ類 (多発時)	アルバリン粒剤 スタークル豆つぶ	3kg 250g					
コブノメイガ	パダン粒剤4	3~4kg	①	トレボン 粉剤DL	3~4kg	①	成虫最盛期から 7~10日後

※ウンカ多発時など、農薬を複数回散布する場合は、農薬ラベルの使用法の確認または、お近くのJA営農及び購買店舗にご相談下さい。
 ※農薬の成分数は化学合成成分のカウントです。
 ※コブノメイガ対策剤(パダン粒剤4、パダンSG水溶剤)については、購買店舗にて購入時印鑑が必要。

IV.雑草防除

項 目	除草剤	10a当り使用量	使用時期	成分数	推奨使用時期
基本処理 一般圃場 初・中期	ウニングランジャンボ	10個(500g)	移植直後~ノビエ2.5葉期	③	移植後3~10日
	サラブレッドGOフロアブル	500ml	移植直後~ノビエ2.5葉期	④	移植後3~10日
	ラオウ1キロ粒剤	1kg	移植直後~ノビエ2.5葉期	④	移植後3~10日
	アピログロウMX1キロ粒剤	1kg	移植直後~ノビエ3.0葉期	④	移植後3~10日
中・後期 (雑草が残った場合)	クリンチャーEW ※使用時は展着剤を加用(混用)する	100ml (水25~100ℓに希釈)	移植後20日~ノビエ6葉期 収穫30日前まで	①	移植後20~40日 イネ科雑草発生田 落水・湛水処理
	バサグラン(Na)液剤	500ml~700ml (水70~100ℓに希釈)	移植後15日~55日 収穫45日前まで	①	移植後15~40日 広葉雑草多発田 落水処理し3日後に入水 夕方散布
	バサグラン(Na)粒剤	3~4kg	移植後15日~55日 収穫45日前まで	①	
	クリンチャーバスME液剤	1,000ml (水70~100ℓに希釈)	移植後15日~ノビエ5葉期 収穫50日前まで	②	移植後15~40日 イネ科・広葉雑草発生田 落水処理し3日後に入水 夕方散布
	レブラス1キロ粒剤	1kg	移植後14日~ノビエ4葉期 収穫60日前まで	④	移植後15~40日 イネ科・広葉雑草発生田 湛水処理

- 有用生物(ミツバチ等)への影響回避対策
 稲の開花期の防除はミツバチへの影響が考えられます。開花期の殺虫剤散布は避ける。(生育ステージ:※注意)
- アルバリン粉剤DLとアルバリン顆粒水溶剤は穂揃い期10日後より前に使用しない。(10a当り)

番号(上表)	対象病害虫	粒剤体系	成分数	粉剤体系	成分数	液剤体系	成分数	防除適期
②	穂いもち 紋枯病 ウンカ類 カメムシ類	ゴウケツモンスター 粒剤3kg (出穂5日前まで但し、 収穫45日前までに湛水散布)	③	ブラシントレ バリダ粉剤DL 4kg	④ (③)	ダブルカットバリダフロアブル 100ml(100ℓの水で希釈)	③ (①)	出穂直前
						エクシードフロアブル 50ml(100ℓの水で希釈)	①	
③	カメムシ類 ウンカ類	アルバリン粒剤3kg または、 スタークル豆つぶ250g	①	アルバリン(スタークル) 粉剤DL3kg	①	アルバリン(スタークル)顆粒 水溶剤 カメムシ50g ウンカ33g (100ℓの水で希釈)	①	穂揃い期 10日後

VII.注意すべき病害虫



葉いもち 穂いもち 縞葉枯病 紋枯病 トビイロウンカによる坪枯れ

農薬の適正使用と他作物への飛散防止に注意しましょう。

生産履歴をつけましょう!